



がんばっています!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



員弁中学校選択理科2年・3年 (いなべ市)

会員数 選択理科2年生22人 選択理科3年生20人 サポーター数1人
中学校の選択理科の授業をこどもエコクラブ活動としたものです。

員弁中学校 サポーター
出口先生にインタビュー

☆ いつどのようにできたのですか?

2007年4月に員弁中学校授業選択理科を選んだメンバーで構成されています。今年とメンバーは違うけど、昨年度も選択理科3年生のチームがありました。

☆ どのような活動をしていますか?

「京都議定書を応援しよう!」というテーマで、Think Globally, Act Locally (地球規模で考えて身近なところで行動しよう) の精神を大切にしています。理科の勉強をしながら地球温暖化防止のPRとなるような活動をしています。

2年生は、地元農家の人たちの指導を受けて、中庭教室前にキュウリとゴーヤの「緑のカーテン」を育てました。成長班、土班、果実班、動物班、温度班、総括班という6つの班に分けて、それぞれが自分たちのテーマで観察・実験をしています。全校生徒へ発表会をしたり、一般の人たち対象の見学会も開催しました。この先、他校や各家庭にも緑のカーテンが広まってくるとエアコン使用量も減り、二酸化炭素排出量の削減にもつながるのでPRしています。

3年生は、化石燃料に代わる二酸化炭素排出量の少ない次世代エネルギーについて調べています。燃料電池班、太陽電池班、風力発電班、バイオマスエネルギー班、その他の新エネルギー班の5つの班に分けて、将来、どれが一番良いかを実験を通して発表・交流会をする予定です。その後、ディベート(議論)を通じて自分たちなりの結論を出す予定です。

☆ どのようなことを子ども達に伝えたいですか?

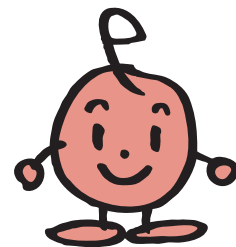
エコロジカル・フットプリント(環境収容力という概念)という考え方からすると、地球のすべての人が今の日本人のような暮らしをはじめたら地球が2.4個必要であるといわれています。わたしたちは、すでに地球の許容量を超えた生活をしています。この現実をしっかりと受け止め、自分ができることを行動に移し、周りの人にも広めていってほしいと思っています。



こどもエコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。

仲間が集まればどんなグループでもこどもエコクラブとして登録して活動を始めることができます。(入会費・登録費は無料です)



こどもエコクラブイメージキャラクター
エコまる

詳細は環境学習情報センターホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>